

[前次](#) このコンテンツを正しく表示するには、JavaScriptを有効にする必要があります

1. [OHCのサンプル・パブリケーション](#)
- 2.

## 目次

- [タイトルおよびコピーライト情報](#)
- [はじめに](#)
- [1 概要](#)
  - [Adaptive Intelligent Salesへようこそ](#)
  - [Oracle CloudとOracle Adaptive Intelligent Appsについて](#)
  - [アクセシビリティ](#)
  - [バージョンの互換性](#)
  - [ロールとユーザーの管理](#)
  - [プライバシー規制とデータ保護](#)
- [2 データのインポート](#)
  - [Oracle Engagement Cloudからのデータのインポート](#)
  - [Oracle Engagement Cloud for Adaptive Intelligent Apps for CXの構成](#)
    - [プロファイル・オプションの更新](#)
    - [推奨のための商談ページのカスタマイズ](#)
  - [データ処理ジョブのモニター](#)
- [3 インサイト](#)
  - [概要](#)
    - [ステータス・レポート](#)
    - [エンゲージメント・レポート](#)
  - [Oracle Engagement Cloudに推奨が表示されないのはなぜですか。](#)
- [4 監督管理](#)
  - [概要](#)
    - [ディール促進](#)
    - [推奨処理のしきい値](#)

[前](#) [次](#) このコンテンツを正しく表示するには、JavaScriptを有効にする必要があります

1. [Adaptive Intelligent Sales](#) スタート・ガイド
- 2.

## Oracle Adaptive Intelligent Apps Adaptive Intelligent Sales スタート・ガイド

19.2

部品番号: F17241-01

Copyright c 2018, 2019, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved

原著者: Adaptive Intelligent Apps for Customer Experience Information Development

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複製、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アSEMBル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクルまでご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されません。

**U.S. GOVERNMENT END USERS:** Oracle programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, delivered to U.S. Government end users are "commercial computer software" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, shall be subject to license terms and license restrictions applicable to the programs. No other rights are granted to the U.S. Government.

このソフトウェアまたはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアまたはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション(人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む)への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する場合、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性(redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したことに起因して損害が発生しても、Oracle Corporationおよびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

OracleおよびJavaはOracleおよびその関連企業の登録商標です。その他の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

Intel、Intel Xeonは、Intel Corporationの商標または登録商標です。すべてのSPARCの商標はライセンス

をもとに使用し、SPARC International, Inc.の商標または登録商標です。AMD、Opteron、AMDロゴ、AMD Opteronロゴは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標または登録商標です。UNIXは、The Open Groupの登録商標です。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。適用されるお客様とOracle Corporationとの間の契約に別段の定めがある場合を除いて、Oracle Corporationおよびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。適用されるお客様とOracle Corporationとの間の契約に定めがある場合を除いて、Oracle Corporationおよびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。

このドキュメントで使用されている事業所名は架空のものであり、現在または過去に実在する実際の会社を特定するためのものではありません。

[前次](#) このコンテンツを正しく表示するには、JavaScriptを有効にする必要があります

1. [Adaptive Intelligent Sales](#) スタート・ガイド
- 2.

## はじめに

ここでは、アプリケーションとこのガイドを使用する際に役立つ情報ソースについて説明します。

### Oracle Cloud Applicationsのガイド

Oracle Applicationsのガイドを探すには、Oracle Help Center (<http://docs.oracle.com/>)にアクセスしてください。

### ドキュメントのアクセシビリティについて

オラクル社のアクセシビリティに関する詳細は、Oracle Accessibility ProgramのWebサイト <http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=docacc> を参照してください。

サポートをご契約のお客様には、My Oracle Supportを通して電子支援サービスを提供しています。詳細情報は <http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=info> か、聴覚に障害のあるお客様は <http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=trs> を参照してください。

[前次](#) このコンテンツを正しく表示するには、JavaScriptを有効にする必要があります

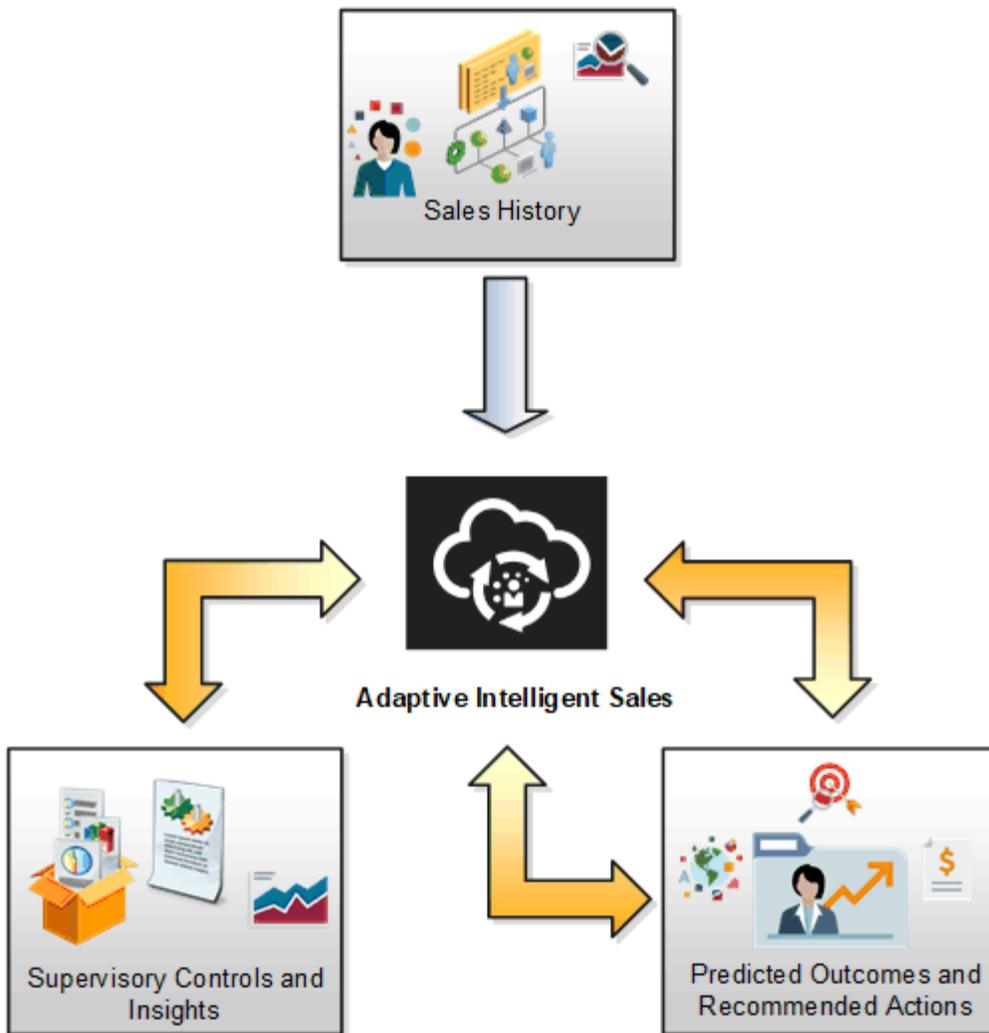
1. [Adaptive Intelligent Sales](#) スタート・ガイド
2. 概要

## 1 概要

### Adaptive Intelligent Sales へようこそ

**Adaptive intelligence**は、意思決定科学と機械学習を組み合わせ、営業担当による販売の拡大および促進を支援します。商談を表示すると、受注率を向上するための推奨や迅速にディールをクローズするためのインサイトが得られます。

この画像は、**Adaptive intelligence**が受注確度や推奨される処理を導き出すためのハイレベルなデータ・フローを示しています。



### 推奨処理

**Adaptive intelligence**のモデルは、商談の受注確度を予測します。モデルの見積と営業担当の見積が一致しない場合、営業担当にアラートが送信されます。また、このモデルでは、全ての推奨される処理

ごとの受注確度を見積もります。これにより、営業担当はより高い受注確度が見込まれる推奨処理を知ることができます。営業担当は、推奨処理を使用して、商談成功の可能性を改善できます。

例を見てみましょう。商談のプライマリ担当者としてマークされたロールにおいて、過去の受注率が低かったとします。その理由として、この担当者が組織の意思決定者でないことが考えられます。そのため、モデルは、営業担当者に、このプライマリ担当者が意思決定者であるか確認することを推奨します。

## ディール促進

営業担当は、四半期ごとの販売目標を達成するために、早期にクローズできそうな商談を見つけ出すことで、販売を促進できます。

ディール促進を利用するには、次のタスクを完了する必要があります。

- 受注確度予測のAPIを使うようにチャットボットを構成します。
- 会計年度終了日を設定します。

これらのタスクを完了すると、営業担当はチャットボットを使用して、商談の予測受注確度を取得できます。

## Oracle CloudとOracle Adaptive Intelligent Appsについて

Oracle Cloudは、ビジネス向けのエンタープライズ・クラウドです。Oracle Cloudでは、セルフサービスなビジネス・アプリケーションや、開発やデプロイメントを行う統合プラットフォームを、新しいサービスを迅速に拡張し作成するためのツールと共に提供しています。開始するには、[Oracle Cloudスタート・ガイド](#)を参照してください。

『Oracle Cloudスタート・ガイド』の次の項は、このクラウド・サービスには適用されません。

- サービス・インスタンスの作成、管理およびモニタリング

Oracleがサービスを管理します。ユーザーが作成、管理またはモニターするサービス・インスタンスではありません。

- Oracle CloudのMy Serviceユーザ・ページを通してのロールとユーザーの管理

Oracle Identity Cloud Serviceを使用して、ユーザーを直接管理します。

- サブスクリプションのトライアル

トライアル・サブスクリプションはありません。

## アクセシビリティ

アプリケーションで作業する間、スクリーン・リーダーなどの支援技術製品を使用できます。マウスの代わりにキーボードを使用することもできます。この表は、Oracle Adaptive Intelligent Apps for CXでサポートされているアクセシビリティ機能を示しています。

機能

摘要

ズーム	ブラウザのズーム機能を使用すると、コンテンツまたは機能を失わずに、テキストのサイズを <b>200%</b> まで変更できます。
コントラスト	サイズの大きなテキスト、およびサイズの大きなテキストの画像のコントラスト比は <b>3:1</b> 以上です。その他のテキスト、およびテキストの画像のコントラスト比は <b>4.5:1</b> 以上です。
スクリーン・リーダー	スクリーン・リーダーを使用できます。有効化するために特別なモードは必要ありません。
タイミング調整可能	アプリケーションのタイムアウト時に問題が発生した場合は、 <b>Oracle Identity Cloud Service</b> 管理者がセッション失効期間を延長できます。

## バージョンの互換性

768ピクセル以上の幅のデバイスでアプリケーションを使用します。Oracleのブラウザ・サポート・ポリシーの詳細は、<http://www.oracle.com/technetwork/indexes/products/browser-policy-2859268.html>を参照してください。

この表は、サポートされている統合のバージョン互換性を示しています。

統合アプリケーション	バージョン要件
Oracle Engagement Cloud	Oracle Engagement Cloudリリース13 (更新18B)以上

## ロールとユーザーの管理

ロールと権限により、アプリケーションの様々な機能に対するユーザーのアクセスが制御されます。**Oracle Identity Cloud Service**でユーザーを管理し、ロールに割り当てることで、ユーザーが実行できるタスクを決定できます。

この表は、割り当てることができるロールと、そのロールに関連付けられている権限について説明しています。

ロール	権限	摘要
Oracle Adaptive Intelligent CXユーザー	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ホーム・ページの表示</li> <li>• インサイトのアクティビティを調整し、監督します。インサイトのページをレビューし、<b>Oracle Engagement Cloud</b>との間のデータ・フローをモニターします。監督管理を使用して会計年度終了日および推奨処理のしきい値を設定します。</li> <li>• 監督管</li> </ul>	Oracle Adaptive Intelligent Apps for CXに関連するすべての営業ユーザー・ア

理の管理

Oracle  
Adaptive  
Intelligent  
CX運用マネージャ

- ホーム・ページの表示
- 接続の管理 データ・ソース接続の管理など、Oracle Adaptive Intelligent Apps for CXの操作に関連するすべてのアクティビティを調整して監督します。このロールは、営業アクティビティのユーザー・ロールの権限を継承します。
- インサイトのレビュー
- 監督管理の管理

ユーザー管理のためにOracle Identity Cloud Serviceを使用する方法の詳細は、この[Getting Started](#)ページを参照してください。

## プライバシー規制とデータ保護

このトピックでは、プライバシーおよびデータ保護に関連する重要な側面について説明します。

一般データ保護規則(GDPR)のある欧州連合など、一部の管轄区域では、個人情報のプライバシーを守るための特別な管理が必要です。Oracle Adaptive Intelligent Apps for CXには、これらのルールの準拠に役立つ機能があります。

Oracle Engagement Cloudのプライバシーとセキュリティの詳細は、My Oracle Supportで[すべてのOracleサービスのプライバシーとセキュリティ機能のガイダンス\(ドキュメントID 114.2\)](#)を参照してください。カスタマ・エクスペリエンス→エンゲージメント - 販売とサービスに移動し、Oracle Fusion Engagement Cloud (Sales, Service, Customer Data Management, & Loyalty)というPDFをオープンします。

## コンシューマの同意

Adaptive intelligenceモデルでは、Oracle Engagement Cloud内のコンシューマ・データを使用して、営業担当が商談をクローズする可能性を高めます。このモデルでは、コンシューマのプロファイル属性と購買履歴を使用して推奨を作成します。たとえば、あるコンシューマに対しては、価格を見積もる前に、製品機能に関するユニークな情報を提供するように、営業担当に推奨したりします。

機械学習で使用するOracle Engagement Cloudに保存されているデータが、明示的に同意したコンシューマに制限されていることを確認してください。

## コンシューマの忘れられる権利

コンシューマが同意を削除する場合は、Oracle Engagement Cloudからデータを削除する必要があります。

す。そのコンシューマ・データは、次の収集処理において、**Oracle Adaptive Intelligent Apps for CX**からも削除されます。

[前次](#) このコンテンツを正しく表示するには、**JavaScript**を有効にする必要があります

1. [Adaptive Intelligent Sales](#)スタート・ガイド
2. 概要

## 2 データのインポート

### Oracle Engagement Cloudからのデータのインポート

基本的な手動の手順と構成を使用して、**Oracle Adaptive Intelligent Apps for Customer Experience**を**Oracle Engagement Cloud**と統合します。接続に成功すると、アプリケーションは**Oracle Engagement Cloud**にアクセスしてデータをインポートできるようになります。

はじめに

**Oracle Engagement Cloud**に接続してデータをインポートする前に、次の点に注意してください。

- 営業管理者または同等のジョブ・ロールが割り当てられた**Oracle Engagement Cloud**のユーザーである必要があります。**Oracle Engagement Cloud**内のすべての商談、アカウント、担当者、リードおよびアクティビティにアクセスする必要があります。営業管理者ロールを作成して割り当てる方法の詳細は、[営業アプリケーション・ユーザーの作成](#)のトピックを参照してください。
- パスワードが期限切れになる数日前にカレンダー・リマインダを設定し、パスワードをリセットすることが重要です。接続をそのままにしておくため、**Engagement Cloud**接続の編集ダイアログ・ボックスでパスワードを更新します。
- 接続を設定するとすぐに、アプリケーションによってすべてのレコードのインポートが開始されます。したがって、インポートするデータセットが大量にある場合は、ダウンタイムに接続プロセスを開始します。

データのインポート

1. **Oracle Adaptive Intelligent Apps for Customer Experience**にサインインします。
2. 接続、データ・ソースの順にクリックします。
3. 使用可能な接続から**Oracle Engagement Cloud**をクリックします。
4. **Engagement Cloud**接続の追加ダイアログ・ボックスで、次の詳細を入力します。
  - サービス・エンドポイントURL: **Oracle Engagement Cloud**ホスト名([https://<osc\\_host\\_name>](#)の形式)。例: <https://abcd.fa.us6.oraclecloud.com>
  - ユーザー名およびパスワード: **Oracle Engagement Cloud**管理者のユーザー名とパスワード。
  - データ・インポート開始日: オプションで、**Oracle Engagement Cloud**からのデータの収集を開始する日付を選択します。日付を選択しないと、使用可能なすべてのデータが収集されます。

重要:日付を設定した後は、データ・インポート開始日フィールドを編集しないでください。日付を更新する場合は、**Oracle Support**に連絡してください。

5. 接続をクリックします。

Oracle Engagement Cloudホストに対して接続がテストされ、成功したら保存されます。データ収集がすぐに開始されます。データ・ソースページが表示され、接続が表示されます。

注意: Oracle Supportによって推奨されている場合にのみ、エンドポイントURLを更新してください。既存のOracle Adaptive Intelligent Apps for CXインスタンスに異なるデータセットを読み込むと、予測が壊れる可能性があります。

## Oracle Engagement Cloud for Adaptive Intelligent Apps for CXの構成

推奨が商談に表示されるようにするには、Oracle Engagement Cloudで次の構成手順を完了する必要があります。

- 関連するプロファイル・オプションを更新します。
- アプリケーション・コンポーザを使用して、「推奨処理」列を「商談」ページに追加します。

### プロファイル・オプションの更新

「設定および保守」作業領域の「プロファイル・オプションの管理」タスクを使用して、この表にリストされているプロファイル・オプションを更新します。

プロファイル・オプション・コード	プロファイル・オプションの表示名	デフォルト	処理
ZCA_ENABLE_ADAPTIVE_INTELLIGENCE	Adaptive Intelligence使用可能	N	Oracle Adaptive Intelligent Apps for Customer ExperienceをOracle Engagement Cloudと統合するには、「はい」に設定します。
MOO_WIN_PROB_AI_THRESHOLD	商談受注確度リスクしきい値	30	受注確度のしきい値を増減します。

### Adaptive Intelligence使用可能

このプロファイル・オプションを有効にすると、次のようになります。

- 「推奨処理」セクションは、「商談の編集」ページに表示されます。次にスクリーンショットを示します。

Recommended Actions				
Show All				
Recommendation	Explanation	Task	Good Suggestion	Not Helpful
Verify that this is still a realistic opportunity	Similar opportunities typically close faster than this Opportunity Age 13			

- 「推奨処理」列は、「商談の編集」ページに表示されます。

注意: この列は、アプリケーション・コンポーザを使用して「商談」ページに追加した後にのみ表示されます。詳細は、「推奨のための商談ページのカスタマイズ」の項を参照してください。

商談の推奨の詳細を表示するには、「推奨処理」列の下のリンクをクリックします。詳細を表示する「推奨」ダイアログ・ボックスのスクリーンショットを次に示します。

Recommendation 1 of 2 >

---

**Verify that the primary contact is the decision maker**

Opportunities have a low win rate when the primary contact has this job title

Primary Contact : **Frank Williams**

Job Title : **Operations Director**

---

Good Suggestion
Not Helpful
Close

### 商談受注確度リスクしきい値

「商談」ページの受注%列には、**Adaptive intelligence**のアルゴリズムによって予測された商談が受注する可能性が表示されます。この予測は、「商談受注確度リスクしきい値」プロファイル・オプションで設定した値を超える範囲で、営業担当の受注確度の見積とは異なる場合があります。この場合、受注%列に警告インジケータが表示されます。

たとえば、プロファイル・オプション値が**25**に設定され、受注確度が**20**パーセントで、予測受注確度が**50**%の場合、インジケータが表示されます。次に、警告インジケータのスクリーンショットの例を示します。

### Opportunities

Find

View ▼

Win %	Name
50%	Cloud @ Bangalore
🚩 60%	Cloud @ Chicago
🚩 80%	Cloud @ Cube
20%	Cloud @ East

## 推奨のための商談ページのカスタマイズ

アプリケーション・コンポーザに移動し、「推奨処理」列を「商談」ページに追加して、**Adaptive intelligence**の推奨が商談に表示されるようにします。ページ・レイアウトにフィールドを追加する方法の手順は、[商談のためのページの拡張: 説明](#)のトピックを参照してください。

また、「商談の編集」ページで「推奨処理」セクションを非表示にすることもできます。これを行うには、[ページ・レイアウトの使用: 説明](#)のトピックにある「ページ・レイアウトの編集」の項を参照してください。

## データ処理ジョブのモニター

アプリケーションでデータ処理のステータスをモニターするには、データ処理ステータス・ページを使用します。データ収集、フラット化、および受注確度と推奨処理の処理についてステータスを表示できます。

データ処理ステータスを確認するには、「データ・ソース」ページで「ステータスの表示」をクリックします。

### Data Sources 🔍

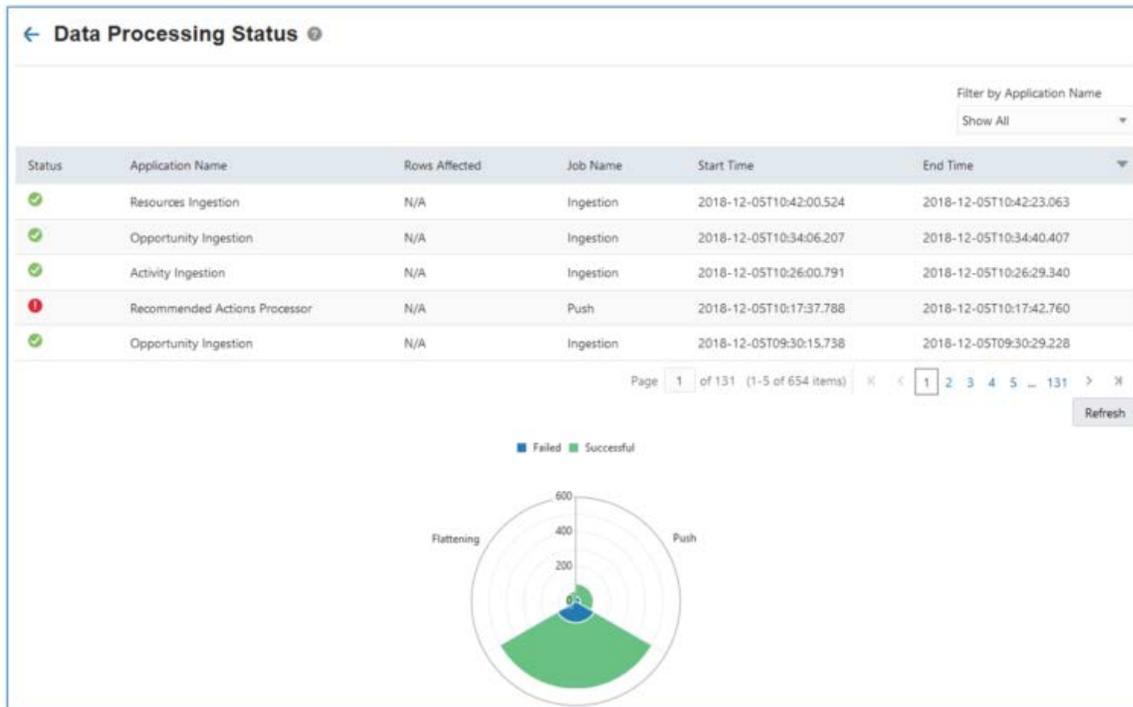
Available

No additional connections are available at the moment.

Connected

	Service Endpoint URL User Name Password Data Import Start Date	https://luscdrmsnc103-fa-ext.us.oracle.com/ sales_admin ***** Import All Available Data	<input type="button" value="Manage Connection"/> <input type="button" value="View Status"/>
---	---	--	--

データ処理ステータスページが表示されます。このスクリーンショットは、サンプル・レポートを示しています。



レポートにはプロセスのステータスが表示され、最新のプロセスが最初にリストされます。この表は、レポートの様々な列について説明しています。

列	摘要
ステータス	プロセスが失敗したか、正常に完了したかを示します。
アプリケーション名	プロセスの名前。プロセスには、データ収集、予測処理およびフラット化が含まれます。
影響を受けた行	データのフラット化にのみ適用されます。特定のプロセス内のフラット化されたレコードの数を示します。
ジョブ名	実行中のジョブのタイプ(収集、フラット化またはプッシュ)。
開始時間	プロセスが開始された時間。
終了日	プロセスが終了した時間。

この表は、レポートに含まれる様々なジョブについて説明しています。

ジョブ名	摘要
収集	Oracle Engagement Cloudから収集されているデータ。
フラット化	収集されたデータのフラット化。
プッシュ	Oracle Engagement Cloudに送信される受注確度予測および推奨処理。

プロセスが継続的に失敗してデータ処理に問題がある場合は、**Oracle Support**に連絡してください。

[前次](#) このコンテンツを正しく表示するには、JavaScriptを有効にする必要があります

1. [Adaptive Intelligent Sales](#) スタート・ガイド
2. 概要

## 3 インサイト

### 概要

インサイトのページを使用して商談のステータスや推奨処理を確認したり、推奨処理に関する営業担当のエンゲージメントをレビューします。

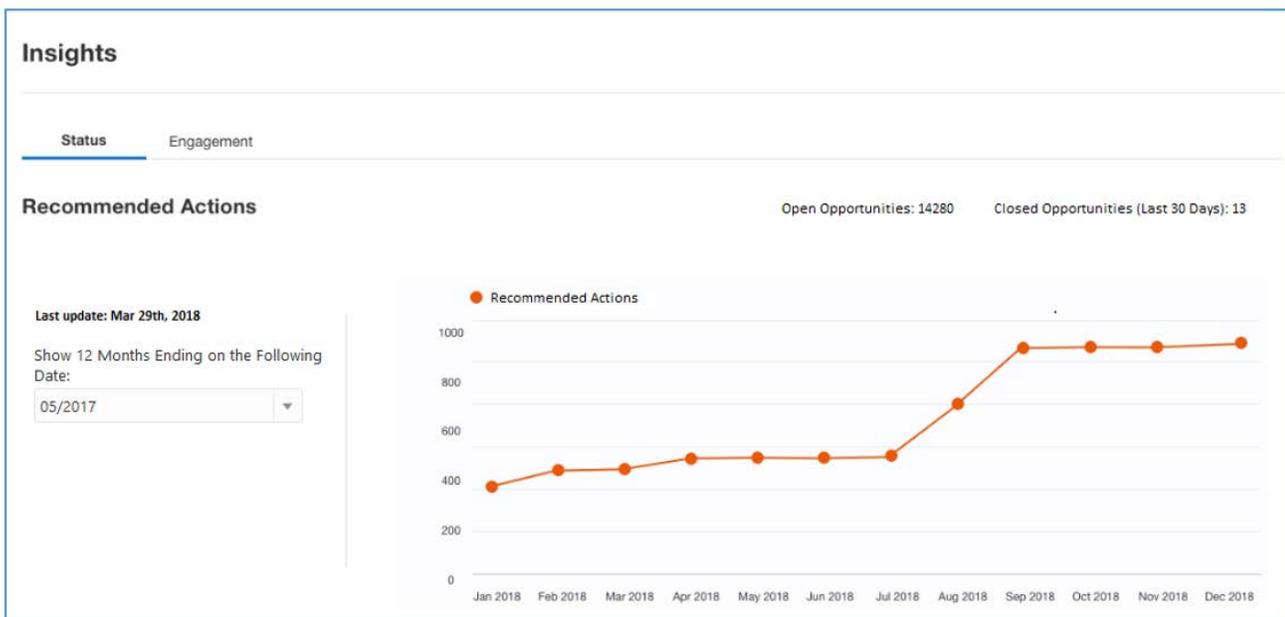
### ステータス・レポート

「インサイト」ページのステータス・レポートには、オープン商談とクローズ商談の数、およびOracle Engagement Cloudで生成されるAdaptive intelligenceの推奨の数が表示されます。ここでは、Oracle Engagement Cloudと交換されたデータのボリュームを表示することで、Adaptive intelligenceモデルが動作していることを確認します。

ステータス・レポートを使用して、次のようなことをレビューします。

- Oracle Engagement Cloudからのデータ収集が動作していることを確認します。レポートには、過去30日間のオープン商談の数とクローズ商談の数が表示されます。これにより、Oracle Adaptive Intelligent Apps for Customer ExperienceがOracle Engagement Cloudからデータを受け取っていることを確認します。これらのフィールドにデータが表示されない場合は、接続設定を確認するか、ヘルプデスクに連絡してください。
- 特定の期間に実行されたAdaptive intelligenceの推奨の数を把握します。これらの数により、Oracle Engagement Cloudで営業担当に対して推奨が生成されていることを確認します。

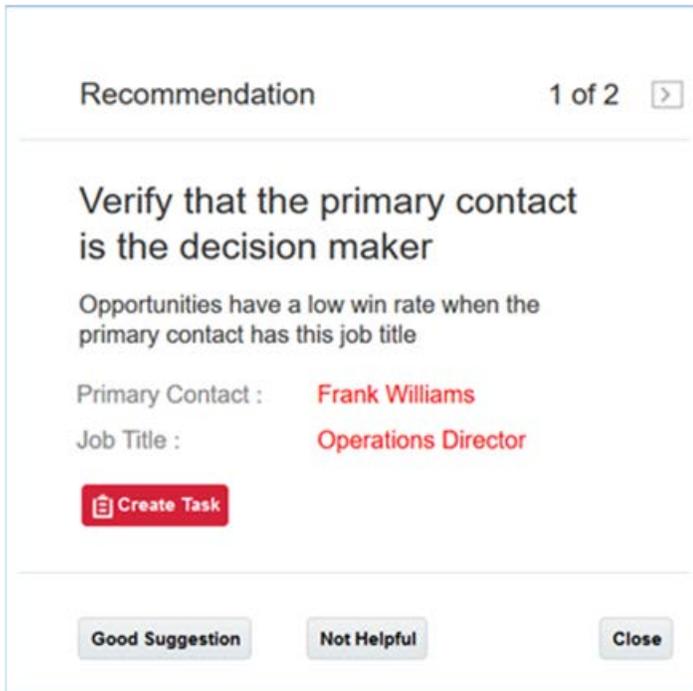
次の図は、Oracle Engagement Cloudから現在収集されているオープン商談とクローズ商談の数を示しています。このグラフには、各月にOracle Engagement Cloudで生成された推奨処理が表示されます。



## エンゲージメント・レポート

エンゲージメント・レポートを使用して、**Adaptive intelligence**モデルによって商談に対して生成される推奨処理に営業担当がどのように対応しているかをレビューします。

営業担当は、優れているまたは役に立たなかったとしてマークすることによって、推奨処理に関するフィードバックを提供できます。次の図は、「商談」ページの推奨処理とフィードバック・オプションを示しています。

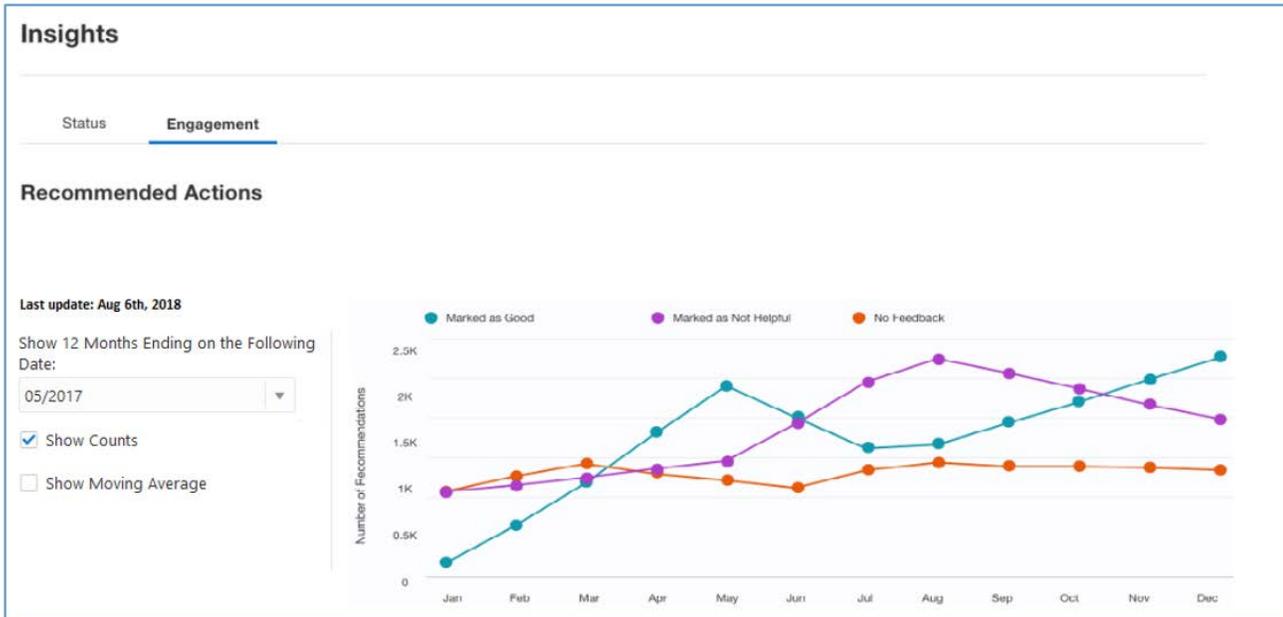


エンゲージメント・レポートは、営業担当のフィードバックの要約を提供します。レポートを使用して、次のことを件数またはパーセンテージでレビューします。

- 優れているとしてマークおよび役に立たなかったとしてマーク: 営業担当により、優れているまたは役に立たなかったとしてマークされた推奨。
- フィードバックなし: 営業担当がフィードバックを提供しなかった推奨。

フィードバックのレベルが非常に低い場合は、営業担当に対して推奨が表示されていることを確認します。推奨が表示されない場合は、接続設定を確認するか、ヘルプデスクに連絡してください。

次の図は、フィードバック・オプションを件数で表したエンゲージメント・レポートを示しています。



**Oracle Engagement Cloud**に推奨が表示されないのはなぜですか。

Oracle Engagement Cloudとの接続が機能していることを確認してください。問題がある場合は、Oracle Supportに問い合わせてください。

[前次](#) このコンテンツを正しく表示するには、**JavaScript**を有効にする必要があります

1. [Adaptive Intelligent Sales](#)スタート・ガイド
2. 概要

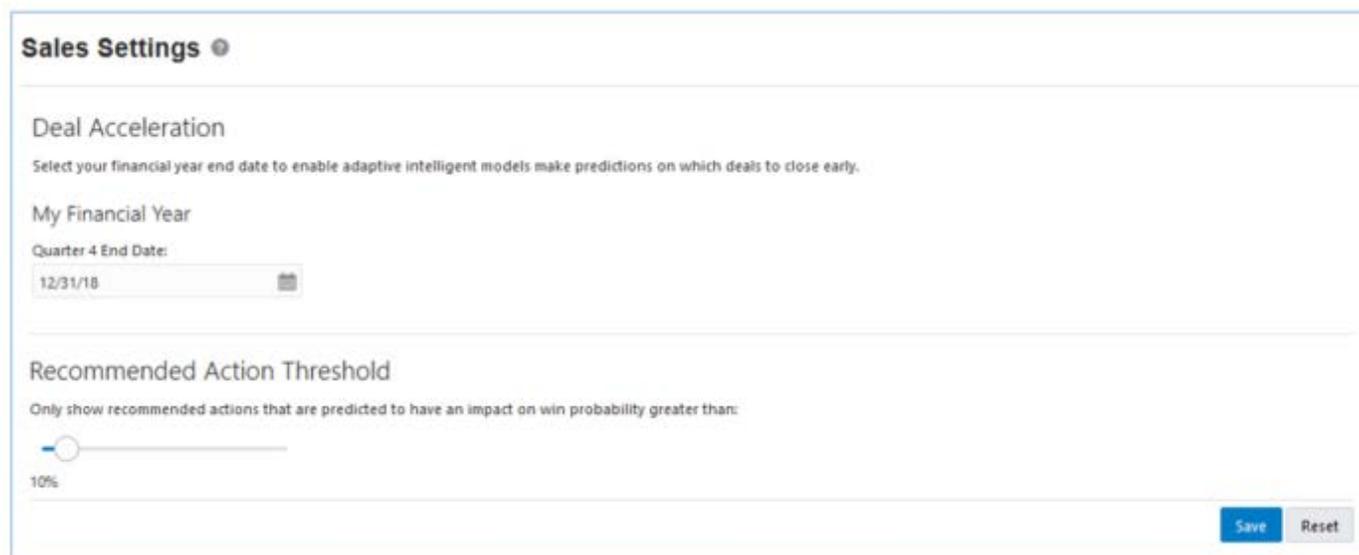
## 4 監督管理

### 概要

営業の設定ページを使用して、次の設定を構成できます。

- ディール促進で使用する会計年度終了日
- 営業担当に有効な推奨のみを表示するための推奨処理しきい値

営業の設定ページのスクリーンショットを次に示します。



The screenshot shows the 'Sales Settings' interface. It has a title 'Sales Settings' with a refresh icon. Below it is a section titled 'Deal Acceleration' with a subtitle: 'Select your financial year end date to enable adaptive intelligent models make predictions on which deals to close early.' Under this section, there is a label 'My Financial Year' and a sub-label 'Quarter 4 End Date:' followed by a date input field containing '12/31/18' and a calendar icon. Below this is another section titled 'Recommended Action Threshold' with a subtitle: 'Only show recommended actions that are predicted to have an impact on win probability greater than:'. This section features a horizontal slider control with a blue circle marker positioned at the 10% mark. At the bottom right of the settings area, there are two buttons: 'Save' and 'Reset'.

### ディール促進

四半期末の販売ターゲットに対して不足が予測されるときに、早期にクローズできる商談を特定することで、営業担当のディールを促進します。ディール促進を有効にするには、チャットボットに受注確度予測のための**REST API**を構成します。**Adaptive intelligence**モデルは、指定された会計年度終了日に基づいて商談の受注確度を予測できます。

#### はじめに

監督管理を使用して、組織の会計年度終了日を設定します。**Adaptive intelligence**モデルは、この日付を使用して、営業担当が指定された商談を早期にクローズできるかどうかを予測します。

チャットボットは、営業担当とのチャット中にこの情報を使用します。営業担当が指定した商談を四半期内にクローズすることの影響を質問すると、チャットボットはすぐにインサイトを提供します。会計年度終了日はすでに認識されています。

## 仕組み

チャットボットがAPIを呼び出すとAdaptive intelligenceモデルが予測を開始します。営業担当が現行四半期に商談をクローズしようとする場合、モデルは指定された商談の受注確度を予測します。営業担当は、四半期末のターゲットを満たすために、どの商談をクローズするかについて情報に基づいた決定を下すことができます。

## 推奨処理のしきい値

推奨処理のしきい値を設定して、有効な推奨のみを営業担当に表示します。営業担当は、Adaptive intelligenceモデルが商談の受注確度に特定の影響があると予測した処理のみに集中できます。デフォルトのしきい値は10%です。

しきい値を増やして推奨処理の数をさらに減らしたり、しきい値を減らして推奨処理を増やすことができます。たとえば、しきい値を40%に設定して、推奨処理が表示されなかったとします。表示される推奨処理を増やすために、しきい値を20%に減らします。Adaptive intelligenceの受注確度予測と商談の受注確度予測の差異が20%以上である場合は、推奨処理が表示されます。